

平成 25 年度 普及に移す農業技術（第 1 回）

[分類]	普及技術
[成果名]	レタス、非結球レタスのオオタバコガ防除にアクセルフロアブルが有効である
[要約]	レタス、非結球レタスのオオタバコガ防除にアクセルフロアブルの 1,000～2,000 倍液を散布する。
[担当]	野菜花き試験場佐久支場
[部会]	病虫部会

1 背景・ねらい

オオタバコガは本県の夏秋作レタスにおいて最も被害の大きい難防除害虫である。本種を防除するための効果の高い薬剤を選定するとともに、レタスに対する薬害の有無を検討する。試験は平成 17 年および 18 年に実施し、平成 25 年に農薬登録されたため、今回普及技術とする。

2 成果の内容・特徴

- (1) レタス、非結球レタスのオオタバコガ防除にアクセルフロアブルの 1,000～2,000 倍液を散布する。

農薬登録内容

アクセルフロアブル

[一般名及び成分含有量] メタフルミゾン 25.0% (IRAC コード^注:22)

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性] ー

[対象作物に対する適用登録状況（平成 25 年 10 月 1 日現在 JPP-NET 確認）]

作物名	適用害虫名	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数
レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	1,000～ 2,000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	1,000～ 2,000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布	2 回以内

本試験は純粋に殺虫剤の効果を判定する目的のため、また、適用登録内容が決定される以前に実施したため、散布回数は適用登録の回数を超えた。

注) IRAC コードとは IRAC (殺虫剤抵抗性対策委員会) が定める殺虫剤の作用機構による分類で、同じコードは同一系統を表す。詳細は農薬工業会のホームページ(<http://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>) を参照する。

3 利用上の留意点

- (1) 本剤はメタフルミゾンを有効成分とする新規薬剤であり、害虫の神経系に作用し、チョウ目害虫に対して食害抑制効果を示す。
- (2) ミツバチに対して影響を与えるので、ミツバチ等の巣箱およびその周辺にかからないようにする。
- (3) 本剤は蚕に対して影響があるので、桑葉にかからないように注意する。
- (4) 眼に対して刺激性があるので注意する。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

(1) アクセフロアブルのオオタバコガに対する試験を佐久支場内圃場で実施した。平成17年の試験は多発生条件下の試験となった。本剤の1,000倍液は、対照薬剤のハクサップ水和剤1,000倍液と比較して優る防除効果であり、無処理と比較して高い効果が認められた。薬害は認められなかった(表1)。

表1 レタスのオオタバコガに対するアクセフロアブルの防除効果
(平成17年、野菜花き試験場佐久支場)

供試薬剤	希釈 倍数	調査株数	被害株率 (%)	被害度 ^{a)}	防除価 ^{b)}	薬害
アクセフロアブル	1,000	20.0	0	0	100	なし
ハクサップ水和剤	1,000	20.0	11.7	10.6	86.1	なし
無処理		20.0	80.0	76.1		

a) : 被害度 = Σ (発病指数 × 株数) × 100 / (3 × 調査株数)

程度別発病指数 0 : 被害を認めない、1 : 外葉に食害痕が認められる、2 : 結球葉にわずかな食害痕が認められる、3 : 結球内部に食害痕が認められる

b) : 防除価 = (無処理区の被害度 - 処理区の被害度) × 100 / 無処理区の被害度

試験場所：野菜花き試験場佐久支場 場内圃場。 品種：「パトリオット」。 定植：8月8日。

区制・面積：1区8.1㎡ 72株/区 3連制。 対象害虫の発生状況：多発生。

処理方法：8月22日、29日および9月6日の3回、所定濃度の薬液（展着剤無加用）を10aあたり300Lの割合で散布した。

調査方法：最終散布9日後の9月15日（収穫期）、各区の20株について、オオタバコガ幼虫による被害の有無を程度別に調査した。

(2) 平成18年試験は中発生条件下の試験となった。本剤の2,000倍液は、対照薬剤のハクサップ水和剤1,000倍液と比較して同等の防除効果であり、無処理と比較して高い効果が認められた。薬害は認められなかった(表2)。

表2 レタスのオオタバコガに対するアクセフロアブルの防除効果
(平成18年、野菜花き試験場佐久支場)

供試薬剤	希釈 倍数	調査株数	被害株率 (%)	被害度 ^{a)}	防除価 ^{b)}	薬害
アクセフロアブル	2,000	20.0	0	0	100	なし
ハクサップ水和剤	1,000	20.0	1.7	1.7	97.5	なし
無処理		20.0	71.7	67.8		

a)、b)は表1と同じ。

試験場所：野菜花き試験場佐久支場 場内圃場。 品種：「極早生シスコ」。 定植：8月17日。

区制・面積：1区7.4㎡ 66株/区 3連制。 対象害虫の発生状況：中発生。

処理方法：8月31日、9月8日および15日の3回、所定濃度の薬液（展着剤無加用）を10aあたり300Lの割合で散布した。

調査方法：最終散布10日後の9月25日（収穫期）、各区の20株について、オオタバコガ幼虫による被害の有無を程度別に調査した。

6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

野菜・花きおよび畑作物の新規農薬等の効果試験、平成17、18年度（2005、2006年度）、民間受託